

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回所沢市市民医療センター運営委員会（書面会議）
開 催 日 時	（市から委員に意見等を求めた日） 令和2年8月26日（水）
開 催 場 所	書面会議のため開催場所はありません。
出 席 者 の 氏 名	（書面会議に参加した委員） 京谷圭子、瀬戸裕、三上哲也、浜島拓也、安達秀夫、小村伸朗 浅野友彦、川南勝彦、遠藤里香、米川智裕、市川健、村山金悟、 田中浩、都築中道、渡辺和利
欠 席 者 の 氏 名	なし
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	（1）第三次所沢市市民医療センター改革プラン 令和元年度実施 状況の点検・評価報告書（案）について （2）第三次所沢市市民医療センター改革プランの期間の延長と目 標値の設定（案）について （3）その他
会 議 資 料	（1）名簿 （2）書面会議開催の可否確認状況 （3）書面会議開催通知 （3）令和2年度第1回所沢市市民医療センター運営委員会の概要 説明  資料1 第三次所沢市市民医療センター改革プラン 資料2 所沢市市民医療センター改革プラン（概要版） 資料3 第三次所沢市市民医療センター改革プラン令和元年度 実施状況・点検報告書（案） 資料4 第三次改革プラン目標値設定（令和3年度・4年度） について  ご意見ご提案記入シート  書面での会議開催についての回答書
担 当 部 課 名	市民医療センター事務局総務課  事務局 部長 鈴木哲也 総務課 課長 中村まさみ  主幹 古瀬 力 主査 三瓶 丞 主任 岸 企子  電話 04（2992）1151

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面による会議を開催したことから、本紙をもって会議録の代わりとします。</p> <p>(1) 第三次所沢市市民医療センター改革プラン令和元年度実施状況の点検・評価報告書（案）について 資料 3 の事務局案の概要は、資料の評価項目を A の「目標達成」から E の「未実施又は達成割合が非常に低い」までの 5 指標での評価とした。 これについて、意見を求めたところ、次のとおり意見が出された。</p>
委員	<p>●全体：グラフが記載されて視覚的に分かりやすい報告書（案）になったと思います。前年度よりも良いフォームの報告書を作成しようという事務局の積極的な意欲が感じられるので、今後もこの姿勢を継続して頑張ってもらいたい。</p>
委員	<p>●全体：埼玉県地域医療構想を踏まえた果たすべき役割と、経営の効率化とは相反するものの、経費削減において医師の採用拡大、診療材料の削減も、そしてコ・メディカルの人件費削減もそろそろ限界ではないかと思います。今後は、医師等採用による収益増を、さらには健診事業の効率化による運営方法の検討等が望まれる。</p>
委員	<p>●全体：今回の報告書（案）は、補足資料として用語説明が添付されていたのでよりわかりやすい報告書を目指しているという意図が良くわかった。</p>
委員	<p>●全体：令和元年度 実施状況・点検報告書（案）について、平成 30 年度の評価と比較し、内部評価はすべて同評価をされています。改善すべき事は、内部評価にて記載されているようですので、もう一段評価を上げられるよう取り組まれる事を希望する。</p>
委員	<p>経営指標に係る数値目標</p> <p>●P4. ①収支改善に係るもの</p> <p>所沢市民医療センターは、小児救急医療、健診の領域で地域において重要な役割を果たしてこられ、また地域包括ケア病床を開設され、2025 年の地域医療構想に対応していこうとされるものと思われる。その結果として、令和元年度においては入院患者数、病床利用率、医業収益も大幅に改善がみられ、内部評価では C 評価としておられるが、実質的には B 評価としてもよいのではないかと。</p>
委員	<p>●P7. ②経費削減に係るもの</p> <p>職員給与比率は 75%とやや改善がみられるものの、一般の病院経営の概念としては、かなり高い印象を受けた。要因として外来収益の減により医業収益が伸び悩んだと分析をしておられるが、医業収益は前年比で約 6100 万円増加している。難しい問題はあると思われるが、人件費削減に向けて何らかの具体的な案を策定する必要があるのではないかと感じた。ここは C 評価とすべきかと思う。</p>

発信者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>(2) 第三次所沢市市民医療センター改革プランの期間の延長と目標値設定（案）について</p> <p>資料4の事務局案の概要は、新しい改革プランに感染症対策の取組みなどについても十分な検討が必要となることから、現在の第三次改革プランを令和4年度まで延長し、令和3・4年度の目標値を新たに設定することとした。これについて、意見を求めたところ、次のとおり意見が出された。</p> <p>●事務局案に同意。全地球規模の「コロナ禍」で医療現場の皆さんに感謝の思いでいっぱいです。センターが「クラスター」の発生源とならないよう更なる予防対策に努めていただきたい。</p> <p>●厚生労働省から再編、統合等を含めた具体的対応方針について「再検証」を要請された424の公的医療機関に含まれているとの報道があった。第三次改革プラン（令和3・4年度）においては、2025年の地域医療構想に対応し、所沢市市民医療センターが地域医療において欠くことができない存在であるということ、是非示していただきたい。</p> <p>●施設の老朽化に対して、改修が必要となってくるとわれ、令和3年度に基本構想の策定に当たられるとのことですが、10年後、20年後を見据えた秀逸な基本構想が策定されることを期待している。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況から、患者の受診自粛・健診自粛の傾向が続くことが予想される。現状維持の目標は仕方がないと考えます。</p> <p>①感染対策を講じている事を市民に周知。</p> <p>②予防接種・健診の推進を積極的に周知することで医業収益の減少を最小限に・・・など、患者数減からの収益減にならないよう対策を講じていただきたい。</p> <p>※いただいたご意見を事務局でまとめ再度意見を求めたところ、ご意見がなかったため、第2回所沢市市民医療センター運営委員会で審議いただくこととした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>